



平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況(連結)

平成 19 年 2 月 9 日

上場会社名 東邦化学工業株式会社

(コード番号: 4409 東証第 2 部)

(URL <http://www.toho-chem.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 中 崎 龍 雄 TEL:(03)5550-3735
責任者役職・氏名 経 理 部 長 井 上 豊

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 ・たな卸資産のたな卸高は、帳簿たな卸によって算定しております。
 ・税金費用は、法定実効税率をベースとした簡便的な方法を採用しております。
- 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 ・売上計上処理の一部変更 7 頁(3)販売の状況(注)1
- 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況(平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (本表及び添付資料の記載金額は百万円未満を切捨て、比率は小数点第一位未満を四捨五入しております。)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四 半 期 (当 期) 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期 第 3 四半期	24,946	7.9	843	220.0	752	381.2	477	939.6
18 年 3 月期 第 3 四半期	23,127	7.7	263	43.7	156	54.8	45	70.1
(参考)18 年 3 月期	31,632		527		366		230	

	1 株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19 年 3 月期 第 3 四半期	22	38		
18 年 3 月期 第 3 四半期	2	15		
(参考)18 年 3 月期	10	79		

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期の我が国の経済は、個人消費の回復に足踏みが見られるものの、企業部門における堅調な設備投資と円安を背景とした輸出の増勢により、緩やかな拡大を持続しています。

化学業界においても、堅調な製品需要を背景に企業業績は総じて底堅い動きとなり、昨秋口以降原油高が一段落し、これに伴い企業収益の更なる改善に繋がるものと期待されます。

このような経営環境の下、第 3 四半期連結会計期間の売上高は、トイレタリー用界面活性剤や土木建築用薬剤の伸長、合成ゴム・ABS 樹脂用ロジン系乳化重合剤の輸出増加、電子・情報産業用の微細加工用樹脂の回復等、総じて堅調に推移し、前年同期比 18 億 19 百万円、7.9%増収の 249 億 46 百万円となりました。

利益面は、引き続き原料高の影響はあったものの、増収効果と一部製品価格の是正、更に設備増設による生産性向上とコスト削減効果もあって、経常利益で前年同期比 5 億 95 百万円増益の 7 億 52 百万円、四半期純利益で前年同期比 4 億 31 百万円増益の 4 億 77 百万円となりました。

部門別営業の状況は以下の通りです。

(界面活性剤)

トイレットリー用界面活性剤は、シャンプー・リンス用基剤を中心に堅調に推移し、大幅な増収となりました。土木建築用薬剤は順調に推移、紙パルプ用界面活性剤は横這いでした。一方、農薬助剤は国内需要の低迷、プラスチック用界面活性剤は主力の帯電防止剤等が低調で減収となりました。

その結果、部門全体の売上高は前年同期比 10 億 18 百万円、8.7%増収の 126 億 99 百万円となりました。

(樹脂)

樹脂エマルションは、フローアポリッシュ用は前年同期並みに止まったものの、鋼板用表面処理剤が伸長し増収となりました。石油樹脂は接着剤用、撥水・耐水剤用等が堅調に推移、樹脂変性用特殊アクリレートも増収となりました。一方、合成樹脂は建材用の断熱フォーム用原液の不振を主因に減収となりました。

その結果、部門全体の売上高は 3 億 7 百万円、9.4%増収の 35 億 71 百万円となりました。

(化学品)

合成ゴム・ABS 樹脂用ロジン系乳化重合剤はアジア向け輸出増を主因に大幅な増収となりました。金属加工油剤は水溶性切削剤を中心に増収、石油添加剤も燃料用、油水分離用等が堅調に推移し、増収を確保しました。

その結果、部門全体の売上高は 10 億 79 百万円、37.3%増収の 39 億 73 百万円となりました。

(特殊溶剤)

電子・情報産業用の微細加工用樹脂は、ユーザーサイドの在庫調整の進捗から当期に入り需要回復が見られ、増収となりました。また、医薬品製造用特殊溶剤等は堅調に推移しましたが、IT 関連事業向け特殊溶剤はユーザーサイドの在庫調整の影響で減収となりました。

その結果、部門全体の売上高は 3 億 80 百万円、9.0%増収の 46 億円となりました。

(その他)

本部門の大半を占めていた石油樹脂の未反応油の転売の売上げにつきましては、販売先との合意に基づき、従来の売上高及び売上原価に総額計上する処理から、売上高から売上原価を控除して計上する処理に変更いたしました。

その結果、売上高は前年同期比 9 億 65 百万円減の 1 億 1 百万円と大幅な減収となりました。

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期 第3四半期	34,845	7,260	20.6	336 90
18年3月期 第3四半期	33,328	6,747	20.2	316 19
(参考)18年3月期	33,549	7,061	21.0	330 89

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末の総資産は348億45百万円と前年同期比15億16百万円の増加となりました。主な増減は受取手形及び売掛金が6億17百万円の増加、たな卸資産が5億80百万円の増加、有形固定資産が4億98百万円の増加、及び投資有価証券が3億12百万円の減少です。

一方、純資産は前年同期比5億12百万円の増加となりました。主な増減は利益剰余金が5億55百万円の増加、その他有価証券評価差額金が1億44百万円の減少です。

その結果、自己資本比率は20.6%（除く少数株主持分ベース）と前年同期比0.4%の増加となりました。

[参 考]

平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	33,200	950	590

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 27円65銭

[業績予想に関する定性的情報等]

堅調な売上を背景とした増収効果と製品価格の一部是正及びコスト削減効果が予想を上回っており、平成18年11月17日に公表しました通期の連結業績予想を上記の通り修正しております。

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

1. 連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
1. 現金及び預金	3,145	3,281			3,730
2. 受取手形及び売掛金	9,691	9,074			8,734
3. たな卸資産	6,671	6,091			5,946
4. 繰延税金資産	212	201			197
5. その他	345	369			320
6. 貸倒引当金	0	0			1
流動資産合計	20,065	19,017	1,048	5.5	18,927
固定資産					
(1) 有形固定資産					
1. 建物及び構築物	4,500	3,945			3,998
2. 機械装置及び運搬具	3,745	3,492			3,569
3. 土地	2,066	2,066			2,066
4. その他	458	768			734
有形固定資産合計	10,771	10,272	498	4.9	10,367
(2) 無形固定資産	110	72	37	51.2	73
(3) 投資その他の資産					
1. 投資有価証券	2,680	2,993			3,126
2. 繰延税金資産	960	710			793
3. その他	297	298			295
4. 貸倒引当金	45	45			45
投資その他の資産合計	3,892	3,957	64	1.6	4,168
固定資産合計	14,773	14,302	471	3.3	14,609
繰延資産	5	8	3	38.6	12
資産合計	34,845	33,328	1,516	4.6	33,549

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負 債 の 部)					
流 動 負 債					
1. 支払手形及び買掛金	8,152	7,661			7,822
2. 1年内償還予定の社債	470				470
3. 短期借入金	6,247	6,890			5,940
4. 未払法人税等	190	17			191
5. 賞与引当金	129	128			310
6. その他	1,996	2,447			1,934
流動負債合計	17,185	17,146	39	0.2	16,670
固 定 負 債					
1. 社 債	2,000	2,170			2,000
2. 長期借入金	4,775	3,817			4,253
3. 繰延税金負債	0	1			1
4. 退職給付引当金	3,623	3,383			3,496
5. 連結調整勘定		0			
固定負債合計	10,399	9,372	1,026	11.0	9,751
負債合計	27,584	26,518	1,066	4.0	26,421
(少 数 株 主 持 分)					
少数株主持分		62			66
(資 本 の 部)					
資 本 金		1,755			1,755
資本剰余金		896			896
利益剰余金		3,094			3,278
その他有価証券評価差額金		1,042			1,127
為替換算調整勘定		39			5
自己株式		2			2
資 本 合 計		6,747			7,061
負債、少数株主持分 及び資本合計		33,328			33,549
(純 資 産 の 部)					
株 主 資 本					
1. 資 本 金	1,755				
2. 資 本 剰 余 金	896				
3. 利 益 剰 余 金	3,649				
4. 自 己 株 式	2				
株主資本合計	6,299				
評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	898				
2. 為替換算調整勘定	8				
評価・換算差額等合計	890				
少数株主持分	70				
純 資 産 合 計	7,260				
負債、純資産合計	34,845				

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売 上 高	24,946	23,127	1,819	7.9	31,632
売 上 原 価	20,924	19,647	1,276	6.5	26,828
売 上 総 利 益	4,022	3,479	542	15.6	4,804
販売費及び一般管理費	3,178	3,215	37	1.2	4,276
営 業 利 益	843	263	580	220.0	527
営業外収益	132	80	51	64.3	102
1. 受 取 利 息	3	2			3
2. 受 取 配 当 金	26	22			28
3. そ の 他	102	55			70
営業外費用	224	188	36	19.2	263
1. 支 払 利 息	150	139			186
2. 手 形 売 却 損	26	24			33
3. そ の 他	47	23			43
経 常 利 益	752	156	595	381.2	366
特別利益	91	44	46	105.2	101
投資有価証券売却益	91	44			101
特別損失	36	100	63	63.2	111
1. 固 定 資 産 廃 棄 損	16	39			50
2. 役 員 退 職 慰 労 金	20	60			60
税金等調整前四半期 (当期)純利益	806	100	706	704.1	356
税 金 費 用	322	50	271	539.7	120
少数株主利益(減算)	6	3	2	68.2	6
四半期(当期)純利益	477	45	431	939.6	230

(3) 販売の状況

(単位：百万円)

部 門	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前 年 同 期 % 比
界 面 活 性 剤	12,699	11,681	8.7
樹 脂	3,571	3,264	9.4
化 成 品	3,973	2,894	37.3
特 殊 溶 剤	4,600	4,220	9.0
そ の 他	101	1,066	90.5
合 計	24,946	23,127	7.9

- (注) 1. 前年同四半期において「その他」に含まれていた石油樹脂の未反応油の転売は、当連結会計年度より売上高から売上原価を控除して計上する処理に変更したため、当四半期の販売には含まれておりません。この変更により、従来の方法に比べて販売が1,419百万円減少しております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。



平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況(個別)

平成 19 年 2 月 9 日

上場会社名 東邦化学工業株式会社

(コード番号: 4409 東証第 2 部)

(URL <http://www.toho-chem.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 中 崎 龍 雄 TEL:(03)5550-3735
責任者役職・氏名 経 理 部 長 井 上 豊

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 ・たな卸資産のたな卸高は、帳簿たな卸によって算定しております。
 ・税金費用は、法定実効税率をベースとした簡便的な方法を採用しております。
 最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 ・売上計上処理の一部変更 7 頁(3)販売の状況(注)1

2. 平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況(平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績の進捗状況 (本表及び添付資料の記載金額は百万円未満を切捨て、比率は小数点第一位未満を四捨五入しております。)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四 半 期 (当 期) 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期 第 3 四半期	22,214	6.7	695	441.3	717	735.2	472	
18 年 3 月期 第 3 四半期	20,826	7.2	128	60.7	85	68.3	27	80.2
(参考)18 年 3 月期	28,453		313		226		167	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19 年 3 月期 第 3 四半期	22	14		
18 年 3 月期 第 3 四半期	1	28		
(参考)18 年 3 月期	7	83		

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態の変動状況

	総 資 産		純 資 産		自己資本比率		1 株当たり 純 資 産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
19 年 3 月期 第 3 四半期	31,743		6,713		21.1	314	58	
18 年 3 月期 第 3 四半期	30,274		6,321		20.9	296	22	
(参考)18 年 3 月期	30,363		6,540		21.5	306	49	

[参 考]

平成 19 年 3 月期の業績予想 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	百万円 29,700	百万円 850	百万円 540

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 25 円 30 銭

[業績予想に関する定性的情報等]

連結の「業績予想に関する定性的情報等」をご参照ください。

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 個別財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資 産 の 部)					
流 動 資 産					
1. 現 金 及 び 預 金	2,603	2,694			3,171
2. 受 取 手 形	900	827			523
3. 売 掛 金	7,281	7,067			7,002
4. た な 卸 資 産	5,456	5,080			5,215
5. 繰 延 税 金 資 産	188	177			174
6. そ の 他	967	623			205
7. 貸 倒 引 当 金	0	0			0
流 動 資 産 合 計	17,397	16,470	926	5.6	16,293
固 定 資 産					
(1) 有 形 固 定 資 産					
1. 建 物	1,954	1,829			1,832
2. 構 築 物	2,221	1,774			1,826
3. 機 械 装 置	3,267	3,077			3,046
4. 土 地	1,855	1,855			1,855
5. そ の 他	445	674			715
有 形 固 定 資 産 合 計	9,743	9,211	532	5.8	9,276
(2) 無 形 固 定 資 産					
無 形 固 定 資 産	46	36	10	28.0	36
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産					
1. 投 資 有 価 証 券	2,595	2,795			2,917
2. 繰 延 税 金 資 産	746	519			603
3. そ の 他	1,222	1,245			1,237
4. 貸 倒 引 当 金	13	13			14
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	4,550	4,546	3	0.1	4,744
固 定 資 産 合 計	14,341	13,795	546	4.0	14,057
繰 延 資 産	5	8	3	38.6	12
資 産 合 計	31,743	30,274	1,469	4.9	30,363

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負 債 の 部)					
流 動 負 債					
1. 支 払 手 形	2,569	2,487			2,305
2. 買 掛 金	4,672	4,306			4,633
3. 1年内償還予定の社債	300				300
4. 短 期 借 入 金	5,420	6,141			5,164
5. 賞 与 引 当 金	120	117			283
6. 設 備 関 係 支 払 手 形	717	1,002			594
7. そ の 他	1,358	1,255			1,286
流 動 負 債 合 計	15,158	15,309	151	1.0	14,566
固 定 負 債					
1. 社 債	2,000	2,000			2,000
2. 長 期 借 入 金	4,428	3,443			3,945
3. 退 職 給 付 引 当 金	3,444	3,199			3,310
固 定 負 債 合 計	9,872	8,643	1,229	14.2	9,255
負 債 合 計	25,030	23,952	1,077	4.5	23,822
(資 本 の 部)					
資 本 金		1,755			1,755
資 本 剰 余 金					
資 本 準 備 金		896			896
利 益 剰 余 金					
1. 利 益 準 備 金		372			372
2. 任 意 積 立 金		1,534			1,534
3. 四半期(当期)未処分利益		762			902
利 益 剰 余 金 合 計		2,668			2,808
その他有価証券評価差額金		1,003			1,083
自 己 株 式		2			2
資 本 合 計		6,321			6,540
負 債 資 本 合 計		30,274			30,363
(純 資 産 の 部)					
株 主 資 本					
1. 資 本 金	1,755				
2. 資 本 剰 余 金	896				
3. 利 益 剰 余 金	3,173				
4. 自 己 株 式	2				
株 主 資 本 合 計	5,823				
評 価 ・ 換 算 差 額 等					
その他有価証券評価差額金	890				
純 資 産 合 計	6,713				
負 債 、 純 資 産 合 計	31,743				

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売 上 高	22,214	20,826	1,387	6.7	28,453
売 上 原 価	18,768	17,925	842	4.7	24,439
売 上 総 利 益	3,446	2,901	544	18.8	4,013
販売費及び一般管理費	2,750	2,772	22	0.8	3,700
営 業 利 益	695	128	567	441.3	313
営業外収益	228	124	104	84.1	150
営業外費用	207	166	40	24.3	237
経 常 利 益	717	85	631	735.2	226
特別利益	62	44	17	40.4	101
特別損失	30	90	60	66.4	100
税引前四半期 (当期)純利益	748	39	709		227
税金費用	276	12	264		60
四半期(当期)純利益	472	27	445		167